

令和7年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」実績報告関係様式

都道府県名	01_北海道
市区町村名	01202函館市
自治体区分	中核市

●R7年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

実施自治体名	課題の類型1	課題の類型2	背景・現状・課題の詳細	左記課題の解決のために令和7年度に実施する具体的な取組	左記具体的な取組のうち、令和6年度における取組の評価・分析を踏まえた取組	本事業で達成する目標（アウトカム）	目標の達成度を測る指標	現状の数値	単位	本年度の目標値	本年度の実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析（事業における成果、課題、改善点等）	目標等の公表先
01202函館市	02 学校と地域の課題	02 青少年の健全育成	出生率の低下等により、子ども同士が地域で遊ぶ機会が少なくなっていることから、放課後の居場所づくりの推進が必要となっている。	10の小学校等において、おおよそ週1回程度、放課後子ども教室を実施している。	小学校の余裕教室等を放課後の児童の活動場所として提供し、地域住民や保護者、学生等にボランティアとして協力を得るなかで、遊びや交流活動を通じて児童の健全育成を図る。	放課後子ども教室への参加を通して、より多くの児童にとっての放課後の居場所として定着させる。	放課後子ども教室1回あたりの児童の参加割合平均	25	%	30	23	02 本年度の目標値を下回り、取組の工夫・改善が求められる。 R6年度と比較すると、実施回数が9回減の184回であり、延べ参加児童数についても、1,276人減の5,725人となった。要因としては、例年の学級閉鎖等に伴う中止に加え、災害や熊の出没に伴う中止があり、実施回数を増やせなかったことや、一部で、指導員の人員不足等により見守り体制が不安定となったことが考えられる。今後も放課後の児童の活動の場としてより一層定着が図られるよう、引き続き、学校や地域住民等の協力を得ながら、放課後の居場所づくりを推進していきたい。	https://www.city.hokkaido.jp/docs/2014012700139/